

学年	高校2年	教科	理科	科目	理科演習	単位数	2
教科書名	化学基礎 (実教出版) 高等学校 生物基礎 (第一学習社)			副教材名	必修整理ノート化学基礎 (シグマベスト) 問題タイプ別大学入学共通テスト対策問題集 生物基礎 (実教出版)		
コース・クラス	中高一貫文系						

I 目標

大学入学共通テストにおいて、基礎科目の合計得点率が80%以上になることを目標とする。

II 授業のねらい

問題演習をしていく中で、各々の問題に対する解法を身につけさせる。また、解答の正確性と時間配分を身につけさせる。

III 授業の進め方

問題演習を中心として進める。また、必要に応じて実験を取り入れ、知識の定着を図るとともに、新傾向の問題に対する応用力を養い、大学入学共通テストでの得点率を上げる。

IV 学習上の留意点

- 1 授業には積極的に参加し、質問があればその都度質問をすること。
- 2 課題は必ず提出し、自分の実力を確実に身につけていくこと。
- 3 化学基礎、生物基礎で既習の事項は自ら積極的に復習をし、基礎知識を持ったうえで演習問題に取り組み、応用力を身に着けていくこと。

V. 定期試験

- | | |
|------------|---|
| 1 学期 期末試験 | 物質の探求、物質の構成粒子、イオン結合 (化基)
生物の多様性と共通性、生物とエネルギー、代謝 (生基)
共有結合と分子間力、金属結合、化学結合と物質 (化基)
遺伝子の本体、遺伝情報とタンパク質の合成 (生基) |
| 2 学期 期末試験 | 物質質量と化学反応式、酸と塩基 (化基)
生物の体内環境、体液とその働き体内環境の維持のしくみ (生基) |
| 3 学期 学年末試験 | 酸化還元反応 (化基)
植生と遷移、バイオームの分布、生態系のバランスと保全 (生基) |

VI 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、授業への取り組み方などで総合的に評価する。

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目		評価方法	到達目標
一学期		化学基礎	生物基礎	確認テスト 期末試験	各単元における大学入学共通テストレベルの問題を解くことができる。
	4	<ul style="list-style-type: none"> 物質の探求 物質の構成粒子 	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー、代謝 		
	5	<ul style="list-style-type: none"> イオン結合 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子情報とDNA 		
	6	<ul style="list-style-type: none"> 共有結合と分子間力 金属結合 化学結合と物質 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝情報とタンパク質の合成 		
	7				
二学期	9	<ul style="list-style-type: none"> 物質と化学反応式 	<ul style="list-style-type: none"> 体液とその働き 	確認テスト 期末試験	各単元における大学入学共通テストレベルの問題を解くことができる。
	10				
	11	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基 	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境の維持のしくみ 		
	12				
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応 	<ul style="list-style-type: none"> 光の強さと光合成 植生と遷移 バイオームの分布 生態系のバランスと保全 	確認テスト 学年末試験	各単元における大学入学共通テストレベルの問題を解くことができる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 総復習問題演習 			
	3		<ul style="list-style-type: none"> 総復習演習問題 		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。